

# 平成19年度 学校評価システム

京都市立高倉小学校

ねらい

教職員が自分たちの取組を振り返り、学校教育目標に向かった取組がどの程度達成できているのかを節目節目で一人一人が把握すること、また、一人一人が問題意識をもって主体的に取り組むことをねらいとして以下のような項目で自己評価及び外部評価を実施している。

自己評価のねらい		外部評価のねらい	
学校教育目標に関わって 研修計画に関わって 研究に関わって めざす子どもの姿に関わって 学校運営に関わって 学校経営に関わって		・学校教育目標達成に向けた教育課程，学習指導方法，育てたい子供の姿等「高倉教育」の取組をについて保護者に説明する機会をもっている。また，校務分掌の中に学年・学級経営を位置づけ，教師と子どもの信頼関係を大切にしたい学級経営のあり方について研修する機会をもち，教職員の力量を高める取組を進めている。 その取組が子どもたちの姿に表れているかを客観的にとらえていくには，保護者・児童からの評価が必要と考え，高倉教育に対する保護者アンケート「児童による評価」を計画的にとっている。そして，学校運営及び学級経営について分析，考察を行い，その後の取組に生かすようにしている。 また，評価項目については『スマイル21プラン』委員会の地域・保護者・学識者・近隣の学校代表等のメンバーと話し合い，評価項目を決めている。	
月	年間計画		
5	・教職員評価システム（自己評価）		
6	・「保護者アンケート」の実施。 ・スマイルアンケート実施	・「児童による評価」の実施。	
8	・評価結果と改善策の公表		
9	・「保護者アンケート」の実施。 ・スマイルアンケート実施	・「児童による評価」の実施。	
10	・教職員評価システム（中間）		
11	・「保護者アンケート」の実施。 ・スマイルアンケート実施	・「児童による評価」の実施。	
1	・評価結果と改善策の公表		
2	・「保護者アンケート」の実施。 ・スマイルアンケート実施	・「児童による評価」の実施。	
3	・教職員評価システム（年度末） ・学校評価をもとに，それぞれの取組を振り返り，次年度の取組の方向を明確にする。 ・評価結果と改善策の公表		

